

第47回「議員と語りかい」報告書

産業建設常任委員会(No.1)

開催日	令和6年11月6日(水曜日) 18時00分 ~ 19時30分		
開催場所	霧島市役所 議会棟3階 全員協議会室		
団体名	個人参加	参加 人員	5人 (男5人:女0人)
出席議員	前田幸一、宮内博、松下太葵、徳田修和、木野田誠、池田綱雄、下深迫孝二		
役割分担	班長(前田幸一)、副班長(宮内博)、記録係(木野田誠)		
テーマ及び 具体的な内容	遊休農地および耕作放棄地の有効活用		

意見 交換 での 主 な 意 見 等	◆は参加者の発言 ◇は議員の発言
	◆遊休農地を市外の企業(中国をはじめ海外の人)が使いたいという時、フィルターはないのか。
	◇令和7年4月から農地中間管理機構で賃借をするようになるため、法律としてフィルターがかかる。
	◆農地中間管理機構には今借りている土地も該当するのか。
	◇新しく借りる土地、再契約の時は農地中間管理機構を通すことになる。
	◇ピーカンナッツの苗は高いようだが。
	◆15,000円~20,000円/本する。耕作放棄地をなくしたい思いで行政と一緒にやりたいと希望している。5年後500トンとれると、霧島市は日本一の産地となる。
	◇耕作放棄地が増えている。
	◇令和5年4月1日から農地の取得が簡素化されたことが皆に周知されていない。
	◇令和5年4月以降、非農家が農地を取得した例が41件ある。
◆堆肥や肥料を使わない「菌ちゃんファーム」という方法がある。遊休地が適しているので遊休地の活用に向いている。	
◆畑の機械作業をしてくれる人がほしいので、手伝いをしてくれる人のマッチングアプリのシステムを作ってほしい。	

◆は参加者の発言 ◇は議員の発言

- ◆隼人には耕作放棄地が多く、ゴミが投げ込まれて荒れていた。今回、農産関係の会社を作ったが、環境整備も目的とした。
- ◆60歳で定年退職して農業を始めたが、補助金は一切ないので何とかしてほしい。
- ◇認定農業者になると、霧島市担い手経営発展等支援事業が使える。
- ◆放棄地で荒れていて耕作できない土地でも田園風景に戻りたい。

意見交換での主な意見等